

県民に信を問うことなく再稼働同意した花角県政に「NO!」の審判を!!

県民意思尊重の土田竜吾さんを県知事に!

「常設型投票条例制定」を公約

「柏崎刈羽原発再稼働の是非を考える県民ネットワーク」は
土田竜吾さんの支援を決め、応援しています

「再稼働の是非は県民投票で」と求めた143,196人の思いに応じて、土田竜吾さんは県議会で県民投票条例制定賛成、再稼働同意を求める花角知事の提案に反対して、キッパリとした態度で論陣を張り尽力してきました。

今度は知事として、地方自治を守り「新潟のことは新潟県民が決める」県政を実現するために立候補しています。

国言いなりで県民置き去りの花角県政に代わって、土田竜吾知事を誕生させ、県民に寄り添う希望ある県政を実現しましょう。



38歳。議員秘書などを歴任し県議会議員1期。上越市で八百屋を営み福島の子どものための保養プロジェクトに野菜を届けていた。



原発再稼働を考える会・長岡では、5月5日付で土田竜吾さんに要望書を提出しました。

(裏面をご覧ください)

【柏崎刈羽原発6号機】県民の不安や反対の声を押し切って 営業運転を強行してから一か月

5月14日、東京電力は定例会見で「安定して運転を継続している」と述べる一方で、次のように続けています。「原発は規模が大きく、配管の腐食や雨水の染みだしといった小さなトラブルは起きている」「(異常の)兆候を見て、許される兆候なのか、抑え込むべき状態なのか、関係者が集まって共通認識を持ち、アクションを起こすことを繰り返している」と述べています。

「小さなトラブル」が起き、対応を「繰り返し返している」状態でも今も原発が稼働しているのは心配です。

関西電力美浜原発3号機では、5月8日に蒸気漏れが起きて原子炉を手動停止しました。破損が見つかったタービン・カバールの閉止キヤップは、本来の厚み20ミリのものがわずかに1ミリになってしまったとのこと。

経年劣化等による重大事故を絶対起こさないために、**原発をただちに停止して、徹底した総点検を実施するよう、東電・国・規制委に求めます。**

★【今日も原発が稼働しているけど、大丈夫?】

原発に義務付けられているテロ対策施設(特定重大事故等対処施設=特重施設)は猶予期間が認められているため、柏崎刈羽原発でも設置しないまま稼働しています。現在の規定では29年8月が期限ですが、今検討されている改定案では31年4月まで延長されます。この先5年間もテロ対策がなのまま原発を動かして続けてよいのでしょうか!!

6月のアオーレ前宣伝行動は 6月11日(木) 16時~16時30分 ぜひご参加を!

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第169号 2026年5月25日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870

ホームページ

